

県とバロー、サントリー

森林・環境保全で協定

県とバロー、サントリーへの出前講座を行ったリーグループ2社は14日、森林・環境保全に向けた包括協定を結ぶ。商品売り上げの一部を県の環境保全活動に寄付したり小学校

協定ではバローの店舗で木育イベントを開催するほか、県産材を

使った販促グッズを製作。サントリー製品の売り上げの一部を県に寄せる。サントリーグループの中で都道府県と環境保全の包括協定を結ぶのは初めてのケースという。

同日、県庁で開かれた締結式では古田肇知事、バローの田代正美社長、サントリー酒類の松田武常務、サントリーフーズの富田英伸執行役員が協定書に署名。古田知事が「県内の森林環境保全を守るために協定はありがたい」と感謝した。

また、昨年9月から2カ月間、バローとサントリーが行った環境保全キャンペーンで集まった86万3285円が県に寄せられた。

(馬田泰州)



協定書を手にする松田武常務、田代正美社長、古田肇知事、富田英伸執行役員(左から)＝県庁